

刊夕日九十月四



定額 一部金 六円五拾銭 郵代別
廣告料 五號十二字 行金五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

人生は求道の旅

眞 繼 雲 山

人ありて時々、この私が僧侶なりやを尋ねて下さる。明けても暮れても佛敎を講説し、佛敎書の著述に没頭してゐる私であるから、それも御尤もな御質問である。併し私は生れながらの在家であり、今も無名の一人である。私の祖父は半途、出家して河内の神宮寺に終つたけれど、その孫として私は、斯うして市井に隠れてゐる以上に、更に入山の志願はない。たゞ、日々、心において佛法に歸依してゐるといふだけだ。

私に、それでいゝのだと思ふてゐる。圓頂黒衣に姿をかへて山に入り一宗に固着せねば佛法の信仰が得られぬといふことなら、佛法とは僧侶の専賣特許品であつて、一般民衆には何の交渉もないものとなる。佛敎とは、そのやうな偏執窮窟なものではない筈だ。少くとも佛敎は、求むる程のすべての人のため開かれたる普門であり大道である。

斯く申す私も、二十年來ひとへに道を求めて歩いて來た。さうして何か得るところありしやといふに曰く不可得、しかも文字通り一

文不智の徒である。左れど知らねばこそ幸ひなので、そこに求めるといふ餘地がある。牡丹餅でさへ十五六も食へばモウ満腹して、牡丹餅に興味は無いであらう。敎界にも佛敎に満腹し食傷してゐるお坊さんも少なからぬ。その人たちには宗敎にも信仰にも人生にも、何等の感激はなかり、たゞ疲れ果てた機械のやうに葬式をつとめ、お布施を勘定してゐるに過ぎぬ。然り満たされたるものは不幸であり、その反對に貧しきものは幸ひである。私は空腹である。故に、未知の世界を前途に眺めて生涯、道を求めて歩くのだ。青葉しげるゆたかな法の林をいつも前途にもつてゐる私は至幸だ。私の周囲には、いつも法の泉がこん／＼として盡きない。

悟りきつたものは完成品としての佛である。悟を求むる有情に菩薩といふので、佛といふは菩薩の理想であり、目標である。暗夜の航海業者は、北斗星を見失つてはならぬと同時に、その船底は水に即してゐることを忘れてはならぬ。水上を走る身の上であることを忘

道の巡禮である。人生とは求道の旅でなければならぬ。いゝのである。

時は春！ お寫し遊ばせ！ 皆様の良い寫眞館

◎最新式電氣應用 晝夜撮影
博覽會開期中
特別割引致シマス

花柳科専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

お花見は!!!
公園の『ときわ』へ……

料理・折詰
仕出し
ときわ
電二二六

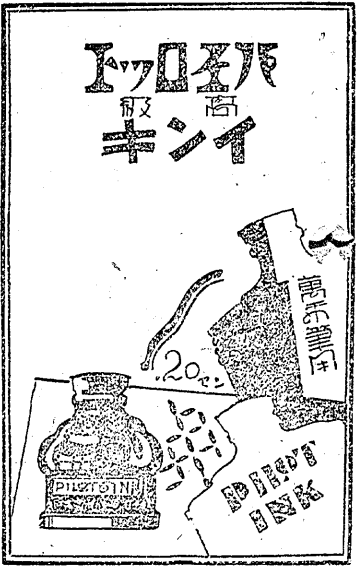
踏デモ叩イテモ

絶対コハレ又時計硝子

丸型時計入替 二十 十 錢
角型時計入替 四十 十 錢

秋山時計店

平 驛 前



大瓶 ¥ 200
小瓶 ¥ 100

平町公園前
特約店 角忠 佐々木商店
電話二三三番

安い！良い！
御裁縫用具が
澤山入荷致しました
平町丸新デパート
(福島屋靴店隣り)
ハシモトヤ糸店

サシの多クタシ

市原醫院

平町田町(電話一一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院隨時

小兒ノかん・むしニあかひき丸堀藥局
平町二丁目
電三二六

自動車協會

けふ總會

五百餘名參集

公園で園遊會

既報本縣自動車協會總會は本日午前十時より平町第三小學校に縣下各支部員五百餘名出席

縣より 仲里警察部長 小林保安課長臨席し左の順序にて開會

開會の辭、協會長告辭 優良従業員表彰、注意報告、建議各事項、協議、來賓祝辭、受賞者總代答辭

午後三時閉會後公園内常磐亭にて

觀櫻を兼園遊會を開催、午後五時よりは谷口樓に懇親會を催したが當日協議された各種事項は左記の如くである

▲注意事項
一、自動車營業者の連絡協調に關する件
一、事故防止に關する件
一、定期運行確守の件
一、貨物自動車の乗客禁止の件

▲協議事項
一、ガソリン共同購入の方法に關する件
一、交通事故防止の座談會開催に關する件

▲建議事項
一、貨物自動車賃金統一の件(本宮支部提出)

を知事に申請する件 (三春支部)
一、自動車税軽減に關する件
一、營業許可權確保に關する件
一、新營業者加入金の一部を支部に割戻の件
一、縣協會に常任幹事及調停委員設置の件(三春支部)

一、街角の電柱移轉整理等に關する件(原町支部)
一、他府縣貨物自動車縣内滞留者取締の件
一、貨物自動車料金變更取締其他の件
一、縣協會役員會に出席旅費を縣協會より支辨する規定制定の件(以上平支部) 外二十二件

一、交通事故防止宣傳に關する件(細倉支部)
一、新路線及營業權の許可の場合に所屬支部の協賛を要する制度を採る案

優良従業員

五十名表彰

別項本縣自動車協會總會の席上全縣下より優良従業員として表彰された者は左記五十名である

- (福島) 渡邊良助 戸田吉邦 白井巖 秋山登 齊藤順吾(飯坂) 菅野貞藏 (桑折) 佐藤吉四郎(保原) 小野登(梁川) 本間五兵衛 (川俣) 高野重(二本松) 伊藤勝二 伊藤佐次右衛門 (本宮) 長谷川敬吉(郡山) 高橋鶴松 桑原喜八 森下孫次(須賀川) 大和田匡康 稻田友治(若松) 小瀧新壽 森重雄 磯貝進浦 酒井宗徳(田島) 近藤一好 佐川周作(喜多方) 横山茂

舊主に深謝の誠意から

丸長商店勤續者の松睦會が結束

平町新川町雜貨商丸長商店に店員として年期を勤續した人々が舊主松崎長吉氏の徳に酬え 相互の親睦を厚ふす 爲めに大正十年三月五日 松睦會を組織し今日迄で總會を重ねる事七回に及んで居り来る廿日午前十時から同商店に於て第八回の總會を開く事になつて居るが當日は總會終了後博覽會を觀覽した上で

園遊會を催す由、世の人情が輕薄に流れて子弟の間柄に種々面倒の生ずる様な場合も尠くない今日、

一度世話になつた舊主の恩を忘れずに結束して益々懇親を重ねんとする誠意は確かに社會の範たり得べく會員は 卅名に達して居るが 役員として左記の人々が會務の進展に膽煎りをして居る (會長) 星野清吉(副會長) 吉田健吉(幹事) 鈴木長三郎 新學米吉 横山彰介 入江孝徳(顧問) 鈴木平藏 (會計) 川又章二 山野邊武雄(賛助員) 坂村利兵五 松崎英三 鈴木喜平

磐城高等女學校の 新校長は千葉の人

保護者會 評議員 大体決定

磐城高等女學校校長は木村寅三氏退職後教頭中川完一氏が校長代理中の處後任として福島高等女學校校長正木貞二郎氏と決定不日來任する事となつた同氏は千葉縣の出身にて明治四十五年高等師範を卒業し二年前福岡市視學から福島高女に榮轉し來り今日に及んだ人である

平第二校で 新任校長 披露式舉行 平第二小學校にては本日午前八時新任校長の披露式を舉行し尙職員一同は午後二時半より同校に於て新舊校長の歡送會を催した

にて大体左記の如く決定する模様である (一) 原精一(二) 吉田中村梅三郎(三) 永野柳造(四) 佐々木龍若(四) (五) 永山和平(四) (四) 鈴木莊夫(五) (一) 坂本隆藏(五) (二) 安齊勝美(五) (三) 伊關爲助(六) (一) 大森(六) (二) 萩原義雄

内郷各小學校の 兒童數が激増

各學級收容數突破

石城郡内郷村にては現在四小學校の兒童五千三百二十三名を七十三學級に收容しつつある現狀にて狹隘を感ずる結果一學級の收容數は六十八名乃至九十二名の多數に達し殊に同村第三小學校の如き一學級九十名以上百名に及ぶ室が六學級に達して居る有様にて村當局並に父兄有志間は學級數増加の前後策に就き寄々協議中である

一頭九圓の馬

石城馬市の成績

既報石城畜産馬組合にて去月下旬より本月十日迄に石城郡澤渡村字中寺、上遠野村字上遠野、田人村字黒田の三箇所に行つた馬市場の成績を見ると賣上合計二萬

鹽豚販賣開始

三二三屋 平田町

滿洲事變實查講演

久留島武彦氏が 平町で大獅子吼

明夜平署會議室にて 一般人の來聴を歓迎

本邦通俗講演の大家として數回來郡してその名を知られた文部省嘱託久留島武彦氏は小名濱町の講演會に招かれ、

今回來郡せるを好機とし平教育會にては明廿日午後六時より平署會議室にて滿洲事變實查講演會を開催、同氏の講演を一般に無料傍聴せしむる事となつた

千餘圓記入通帳を 抱いて博覽會見物

遺失して青くなつたが 正直者に拾はれて一安心

石城郡飯野村字谷川瀬遠藤市太郎(○)は昨十八日午後三時頃處用の歸途博覽會第一會場を見物中千餘圓記入の郵便貯金通帳を遺失したので青くなつて平署に届出たが間もなく同會場を見物中であつた田町五四花屋齋藤誠二君が拾得直に届出たので無事本人の手に戻つた

磐中修學旅行

磐城
中學校にては來る五月上旬
四年生二百四十二名の關西

同氏は今回の事變に際し滿洲の實戰場を踏破、同胞奮戦の様を目撃し血沸き肉躍る幾多の材料を持ち歸られた事として既に定評ある同氏の雄辯に依つて是れが明らかに説述される時興味津々として盡さず思はず

△衛生思想普及の爲め家庭衛生講習會を開催する
件△傳染病早期発見の良策に關する件△四月廿七日施行の結核豫防デーに關する件△春期衛生掃除

他人の娘を 勝手に轉々

親の承諾書を 偽造して圖る

石城郡内郷村字内町飲食栗原源太郎(○)は昭和五年八月中山市鶴見擔三十居住の遠藤トメ(○)の長女ヲ(○)を前借五十五圓にて女中に雇入れ酌婦行爲を爲さしめた揚句茨城縣多賀郡磯原町や宮城縣鹽釜町を轉々せしめ最近同縣名取郡陸前中田驛前鈴木屋旅館に前借百圓にて住込みしめた事を母親が知り本日平署に栗原を相手に訴へ出たが栗原は住替毎に母親の承諾書を偽造して甘い汁を吸つて居たものであると

山林に老人の 死體が轉がる

通行の女がビツクリ 身元漸く判る

石城郡永戸村大字合戸字中館地内山林を通行中であつた同字の小櫛アサ(○)は十八日午前六時頃労働者風老人の屍體を発見驚いて駐在所に届出たので平署にて検死の結果數日前より同字地内を徘徊して居た富山縣上仁川郡上瀧町六三二生れ田

明日のラジオ

二十日

仙遊放送局

今晚も明日も
北西の風晴れ

後二、〇〇 家庭大學講座
「三ツ兒の魂」文學博士椎尾辨匡
後六、〇〇 子供の時間
お話「良し習慣は子供の時から」仙臺市學務課長池田菊左工門
後七、三〇 古老夜話「農村今昔談」田子英吉
後八、〇〇 長唄「紀州道成寺」任田又次郎外
後八、三〇 獨唱 大田黒養二、ピアノ伴奏リジヤシヤビロ
後九、〇〇 連續講談「曉星五郎終席」寶井琴凌
後九、三一 奉天より

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
兒童劇「謎ヶ關」K子供會
後八、〇〇 ピアノ獨奏
アレキサンダーブライロスキー
後八、四〇 新小唄 岩手縣水澤町小文外
後九、〇〇 連續講談「曉星五郎第四席」寶井琴凌

明日の部

後七、〇〇 小鳥の春
後九、一〇 料理獻立「貝柱の吸物」松本良雄
前一〇、三〇 家庭講座
「家庭と修養」佐藤政二郎
後一〇、〇五 俳諧 山藤秀吉外

市川檢事立會の下に公判開廷檢事より懲役十ヶ月の求刑あつたが言渡しは明二十日午前九時である

競技練習 磐女校にて

磐城高等女學校に於いては課外運動として毎週各學年一時間宛テニス、バスケツト、ボール、バレーボール等の練習を行ふと

櫻花の見事さに ツイ手が伸びて

老人散々説諭さる

本日午前十時頃新川畔に折柄の雨に打たれながら満開中の櫻を觀賞しつゝあつた双葉郡富岡町字田中の猪狩喜四郎(○)と云ふ老人がその見事さに持ち歸らんと心なくも一枝折つた處を平署員に発見され本署で散々説諭の上歸されたが平署では今後共斯うした公徳心のない者は嚴重取締の方針であると

平職業紹介所報告

求人部
△出前持 二十以下 尋卒

給料面談(平町某食堂)
△女中 二十前後 尋卒
給料面談(平町某印刷所)
△農夫 二十五迄 尋卒
年八十圓給(飯野村某)
求人部の部
△雑夫 五十一才 尋二修
給料面談(内郷村某)
△事務員 二十二才 商業
二修 給料面談(平町某)
△倉働 三十二才 高卒
給料面談(伊達郡某)
△女中 四十三才 高卒
給料面談(内郷村某)
△車夫 三十五才 尋四修
給料面談(北海道某)

衛生 主任會議

既報昨十八日午前十時より平署會議室に開催された管内各町村衛生主任會議は伊藤平署長の訓辭後左記協議を爲し衛生日割を決定した

ペンキ詐欺 求刑十ヶ月

相馬郡原ノ町居住朝鮮人吳永淳事ペンキ職西村政雄

歓迎 晴れの凱旋

在滿洲獨立守備隊歩兵第二

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

【第卅席】 神影流の達人秋山要介

要介早くも看破る

秋山要介は寄居の名主新右衛門よりの迎ひと聞いて衣類を着直し駕に乘移つたが一刀の柄を下にしてこじりを上にし左の膝に引付て置く、柄を上にして置くとは抜く時に不便です、下に置いて置けば直に抜けそれに手敷を省く駕昇は肩を入れてトッ／＼と小川の町を外れて寄居までは約三里ある、一里餘り來ると日は暮れ路の左右にはチヨロ／＼水が流れてゐて、それが何やら囁くやう

要「駕暫く待て」
駕「ハイなんぞ御用でございますか」
要「小用を達す、駕を止めろ」
か「ハイこれへ穿き物がござります」
要「イヤ暫くそれにゐてくれ、まだ酔つてゐるが、かごが揺れた爲か些と氣が快くない、イヤ大した事でもないが時にかご昇俺を寄居まで送る、その酒代は遣はす、定めし新右衛門の許より骨折も出るであらうが、俺からも遣はす」
か「夫は有難い事でござります」



要「手を出せ」
籠「へエ熊や先生が酒代を下さる由だ」
熊「夫は有難えナ、どうぞ頂かして下さいまし」
要「手を出せ多分に遣はすぞ」

籠「ハイ／＼今日は如何なる吉日か金儲けに許り出遇ふぞ」

要「もつと傍へ寄れ」
籠「どうぞ酒代を下さいまし」

進み寄つた、二人ズイト出したその手をビタリと押へて要介はグッとと掴上げ

た、驚いたは籠昇
○「先生元談なさいますナあゝ痛え／＼指の尖をさう持たれては動くことも出来ねえ」
要「酒代は遣はすが眞實の事を言へ、貴様達は何人かに頼まれて俺を引出すつもりで新右衛門の使といつぱりかごを持つて参つたナ」

○「イヤそんな事はございません事實新右衛門旦那に頼まれてお願ひに出ましてござります」
要「偽りを申すナコレ能く聞け、新右衛門の許より参つた者なら書簡を持参いた

すか或は附添ひの者の参らねばならぬ、只かごのみを寄越すは合點のいかぬ事だ何者に頼まれて俺を迎ひに來たかそれを云へ云はねばこの指を二つづ／＼折るぞ」
熊「ア、痛え／＼どうぞお助け下さいまし、ヤイ國藏懲うなつて、懺悔す事も出来

ねえ、打あけてしまふか」
國「先生おまへさんには油斷がねえ恐れ入りました」
要「何者が頼んだ」
國「それは何んでござんすわし共も一時は斷つたでございませぬが、一兩遣ると云はれたでよくねえ事とは知りながら慾に目が眩みまして」

要「一兩欲しさに惡黨の味方をするとは愚な奴だ、其頼みし者は小川の逸見か」
國「イエ逸見先生から頼まれた譯ではねえ」
要「それでは誰だ」
國「蝦の八五郎どんや秩父の周助どんや秋葉の三次どんから頼まれてまして」
要「其者共は何者だ」
國「寄居の虎五郎親分の若い者で逸見先生の弟子でござります」

要「なんで俺を殺さうとするかその理由を貴様達も存じ居るであらう」
國「詳しい事は知らねえが逸見先生とあなたと試合をすれば逸見先生が負るで、さうなつては先生の恥になり又弟子共の恥にもなるだから今のうちに殺して了へと懲う言ふ譯でわし共が新右衛門旦那の使だと言つて來ました」

要「悪い奴だナ、シテ俺を殺す場所は何處だ」
國「鉢巻の六地藏の前でござります」
要「定めし飛道具を用ゐるであらう、それは鐵砲か」
國「お察しの通り八五郎どんが鐵砲を持つて敷の中に入つて居りまして、かごが

止まるとズドンとやることになつて居ります」
要「其他の者は何れに忍び居る」
國「周助どんは地藏堂で後に竹槍を持つて居りまして鐵砲で打殺す事が出来なかつたならば突殺す事になつて居ります」

大塚の
學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を

大塚支店製靴部
電話七七番

上田外科醫院
平町 南町
電話二一九番

美味 滋養

松本の 洋生菓子

ヤトモツマ
番四一二電目丁四平

御花見折詰
御重入辨當
御料理仕出し

錦水
電話四五四

内科 難波 睦
醫學博士
平町新川端(釜屋新宅向)
電話五〇二番

第三回 郡下模型飛行機競技大會

◎期 日 來る二十四日 午前九時
◎場 所 昭和産業博覽會第一會場

参加資格何人を問はず参加券不用
尚其詳細は主催店へ御問合せを願ふ

主催 平町 後援

昭和三十二年 常磐毎日新聞社
昭和三十二年 昭和産業博覽會
昭和三十二年 郡下模型飛行機